



幸せな贈り物

まちがった質問には

答えはありません!



祝福された生活を始める真実の質問

新年が始まりました。多くの人々が「今年には幸せだろう」という胸躍らせながら希望を持って出発をします。はじまりを大切に思うのは、どんなはじまりかによって結果が変わるためでしょう。ところで、それ以前に、さらに重要なことが「どこを見ながら走るのか?何を思いながら走るのか?」というポイントです。方向が違えば結果は完全に違います。考えをまちがうと、判断がまちがうようになって、判断をまちがえれば行動が変わって、行動がまちがえば、結局、未来が変わるようになります。それでは、その結果を見ながら「私はなぜまただめなのか?」とまちがった質問を繰り返さなければなりません。まちがった質問には答えがありません。いくら勉強がよくできる学生でも、先生が問題をまちがって出せば、答えを出すことはできません。「祝福された新年のはじまり」という質問をどう思いますか。

- ①熱心に生きているけれど、何のために生きるのか意味がなくて、理解できないむなしさを持って、うつろな中でさまよっていないですか?
- ②それで、私も知らない間にインターネット、淫乱、ギャンブル、アルコール、ゲーム、麻薬に中毒になって、人間関係、家庭問題、経済問題に苦しんでいませんか?
- ③あるいは、確かに経済的に、社会的に成功したのに、人には話せない自分だけの悩みと、続く問題で

苦しめられてはいませんか?

- ④先祖代々、偶像をおがみ、占い、お祓いをして、お守りを付けているのに、災いと困難が続いていないですか?
- ⑤とても努力して、全力をつくしても、特別な理由も原因もなく、事業、職場、家庭に困難が続いていませんか?
- ⑥未来の運命が分かず、いつも不安で苦しくありませんか?
- ⑦ストレスで苦しんでいて、うつ病で生きる意欲を失い、否定的な考えに捕われて自殺してしまいたい衝動を感じていないですか?
- ⑧家庭と家系に願ってもいないのに、不治の病や精神的な疾患があって、家族が苦しんでいませんか?
- ⑨家庭内の不和による葛藤の中で家出、逸脱行為、不安、あせりで深刻な苦しみにあっていないですか?
- ⑩誤った友人関係によって、子どもが家出、不良になったり、さまよったり、盗みグセ、各種の中毒症状を持って悩んでいませんか?
- ⑪夜ごと悪夢、金縛り、幻覚、幻聴に苦しめられていませんか?
- ⑫宗教を持っていながらも、真の喜びと安らぎはなくて、罪悪感と悪い霊に苦しめられていないですか?
- ⑬信仰生活をしているのに、真の答えと安らぎがなくて、しばしば不信仰に捕われて問題の前で挫折して落胆していませんか?

解答があります



神様のみことばである聖書には、このような質問に対してその解決策を簡単に知らせています。本来、人間は神様のかたちとして創造されました。神様を知って礼拝できる霊的な存在で、神様と交わりながら生きるように創造されたのです（創世記 1:27、2:7）。そして、人に全地を征服して治める権威をくださいました（創世記 1:28）。言い換えれば、人は最高に幸せな霊的存在として創造されたということです。魚が水の中で、鳥は空中で、木は地中に根をおろして生きなければならないように、神様のかたちとして創造された人間は、神様とともに生きてこそ、真の幸せを味わうようになります。これが神様の創造の原理です。

ところで、なぜ人間にこのように解決できない不幸な問題がたくさん生じるようになったのでしょうか。人間を創造された神様と人間の間には約束がありました（創世記 2:17）。ところが、人間はサタン（悪魔）の誘惑によって、この約束を破る罪を犯してしまいました（創世記 3:23）。罪を犯した結果、人間は神様を離れるようになってしまいました（創世記 3:1~6）。神様を離れた人間は、サタン（悪魔）の奴隷になってしまったのです（ヨハネの福音書 8:44）。その結果、人間には呪いと災いと苦しみと死がやってくるようになり、運命と生年月日による運勢に縛られるようになり、最初の間であるアダムとエバが罪を犯してから、すべての人間は原罪を持って生まれるようになり、私たちのたましいは神様を離れて死んだたましいになったのです。これが私たちの人間の根本問題です（創世記 3:1~6、ローマ人への手紙 3:23）。人間は結局、神様を離れて、サタン（悪魔）の支配を受けながら生きるようになり、サタンは、神様に敵対して、人間が自ら解決できない苦しみとのろいをもたらして、結局は、滅亡させます。多くの人々が、宗教、善行、哲学、科学などを通してこういう不幸の問題を解決して神様に会おうと努力するのですが、人間自らの力ではこの問題を解決できません。

それで、神様は人間の問題を解決してくださるために「キリスト」を送ると約束してくださいました。キリストは神様を離れたすべての人間が神様に会えるようになる唯一の道である真の預言者です（ヨハネの福音書 14:6）。キリストは十字架で私たちの罪の代わりに死んでくださることによって、私たちのすべての罪を解決してのろいから解放してくださる真の祭司です（マルコの福音書 10:45、ローマ人への手紙 8:2）。キリストは死から復活され、今でも人間を困らせて地獄に引っ張っていくサタン（悪魔）のすべての権威を完全に打ちこわされた真の王です（ヨハネの手紙第一 3:8）。このことを完成されたキリストがまさに「イエス様」だと聖書は語っています。言い換えれば、人間が絶対に解決できない根本問題を完全に解決された方だということです。イエス様はこれらすべての救いの計画を十字架で成し遂げられ、死から復活されました（コリント人への手紙第一 15:3~4）。今でも天の御座に座って、世の中を統治しておられます。

それなら、私はどのように私のすべての問題から解放されて救われることができるのでしょうか。今、上の事実を信じて、イエス様をキリストとして私の心に受け入れれば良いのです（ローマ人への手紙 10:9~10、ヨハネの福音書 1:12）。イエス様を信じて祈りで受け入れれば、神様の霊である聖霊様が私の中に入って来られ、神様の子どもとしての身分を得るようになり、本来の人間が味わった祝福と権威を味わうようになります（ヨハネの福音書 3:16、創世記 1:27~28）。今、この時間にあなたはイエス・キリストを受け入れることによって神様の子どもになって、あなたの過去、現在、未来のすべての問題を解決してもらうことができるのです（黙示録 3:20、ヨハネの福音書 5:24）。真実な心でイエス・キリストを主人として心の中に受け入れるお祈りをささげれば良いのです。

**あなたは真の幸せを味わう
大切な人です。**

ちがいとまちがい

海賊船に乗った人が船長の話をよく聞いて、健康に自分の仕事に誠実にはたせば、その人が行うすべての善行と救済が正しいことでしょうか。事実は、誠実に生きて誠実にすればするほど、その人はさらに悪い海賊であるだけです。この海賊が、本当に善行と救済をすることを願うなら、海賊という身分から変えるのが優先順位です。リンゴの木がリンゴの実を結ぶからリンゴの木なのではなく、リンゴの木だからリンゴの実を結ぶということばが分かるでしょう。人間が罪を犯して、のろいと災いの中で生きるということは、罪を犯したためではなく、根本的には罪を犯すしかない罪人であるからだと聖書は語っています。思ってもいないのに私に迫ってくる家系に相続される問題、悪いことをしたこともないのに押し寄せる災いの問題、そして、やむを得ず次世代にまた伝えられるしかない霊的な問題...これを解決するのが福音であると聖書は語っています。キリスト教は、他の宗教のまちがいを言うのではなく、人間の根本的な問題を解決する解答においてちがいを話すのです。

宗教が神々を求めて行く人間の苦闘ならば、福音は神様がすべての人間が経験している苦しみの問題を解決するために、直接、私たちを訪ねて来られたのです。イエス・キリストが送られて、十字架で死なれることによって、人間のすべての罪とのろいを贖われ、復活してサタンの権威を打ちこわして、神様に会う道とサタンがもたらすのろいから解放される道を開いてくださったのです。宗教は自ら道を探しなさいと言いますが、福音は信じさえすればよいと言われる。宗教には、死に勝つたいのちがありませんが、福音は死に勝った復活の実と約束があります。宗教は心を無にして、何も持たないところに帰れと話しますが、福音は神様がともにおられる真の幸せ、真の所有を味わえと話します。宗教は悪霊をおがんでなだめる道を知らせませんが、福音は悪霊を追い出し、戦って勝つ権威を与えると約束しています。それで、福音は宗教でなくいのちだと、そのちがいを言うのです。

福音は次のことです。神様は宇宙と万物を創造された創造主です。本来の人間は神様とともにいる幸せな存在として創造されました。しかし、サタンが出現して、神様と人間の間を分離させて罪の中に陥るようにさせました。その結果、偶像にお辞儀をする霊的問題を通して、精神問題、家庭問題、肉体問題、経済問題など、生活のバランスが崩れて、結局、死んでさばきを受けるしかなくなり、霊的な問題は次世代にそのまま相続されて、家ごとに同じ問題で苦しみを味わうようになりました。この問題を解決するために、聖書に約束されたとおり、イエス・キリストが来られて、サタンの権威をうち破って、人間のすべての問題を解決していただきました。だれでもイエス・キリストを受け入れる瞬間、永遠ないのちと真の幸せの祝福が始まるのです。

神様の子どもになる 受け入れの祈り

愛の父なる神様。

私は罪人です。今まで神様を離れ、サタンの支配の下に縛られて、奴隷のように生きて来ました。

しかし、今、この時間、イエス様を私の救い主、私の神様、私のキリストとして受け入れます。イエス・キリストは、神様に会う唯一の道であり、サタンの権威を打ち砕かれ、すべての罪とのろいと災いから私を解放してください。イエス・キリストであると信じます。いま、私の中に入って来てくださり、私の主人になってください。今から私の生涯を細かく導いてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

神様の子どもの 毎日の祈り

父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。

今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。

私の家庭と現場と行くところごとに福音を邪魔して困らせるすべてのサタンの勢力を権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。

どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。

そして、私の生活を通してイエス様がキリストであるということがあかしされ私の現場に神の国が臨むようにしてください。毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。今も私とともにおられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

考えの力で 生き返る人生



イラスト_シン・チョンウン

人が動物と違うのは考える力だ。普通、進化を言うとき、生命体のからだが変わることだけ見るが、その存在の考えの変化はどこでも話すことはない。確かに考えがあるのにもかかわらず、その考えの始まりがどこだったのかは明らかにすることができない。しかし、人間は考えを越えて、たましいの存在なので、その状態は確認できないとしても、考えの存在を見つけた人間の偉大な考えの力は、宗教を見つけ出すようにした。

フランスにエミール・クエという薬剤師がいたが、ある日、遅い時間にある患者が薬局を訪ねてきて、突然からだに異常が生じて病院まで行くことができないから、自分のつらさを軽くするために高名な薬剤師が薬を作ってくれと言った。医療法上、薬剤師は医師の処方せんによって薬を作れるのだが、この人は自分の苦しいからだにより差し迫っていることだけを訴えて薬を要求するので、困りはてるしかなかった。薬剤師ははじめは、それはできないと断ったが、とても苦しんでいる彼の姿を見て、しかたなく医療法に抵触する薬でなく、彼の病気とは何の関係もないぶどう糖類の薬を粉にして白い袋に入れてあげた。その次の日、その患者は早くに薬剤師に会いにきた。いったいその薬が何の薬だったので、その薬を一袋だけ飲んだだけなのに、このように病気がみな治ったのかと不思議がったということだ。この患者は、自分の苦痛に対して直ちに医師が助けることは難しく、ただ実力ある薬剤師が自分のために作った薬が、自分自身に役に立つという強い確信を持ったので催促した。薬剤師が作ってくれる薬の内容よりも、薬剤師がくれるのは自分に薬になるという信仰だけを持ったのだが、結局、ぶどう糖の粉だけでもいやされたのだ。こういうものを、にせ薬

効果、すなわちプラシーボ効果 Placebo effect と言う。

人間の考えが今は苦しくても良くなるということを考えれば、そのまま良くなるということだ。結局、その考えが危機に会った人のからだにも影響を与えて、健康までも回復するようにさせたのだ。

新年になれば、立派な考え、良い考えですてきな計画を立てる。当然すべきことだ。しかし、いくらすてきな計画と考えがあっても、それが真理と合う時だけが、その計画は価値ある成果を上げるようになる。プラシーボ効果を通して、一時的な健康効果を得るのは可能でも、それで真のいやしをずっと受けることは難しい。さらには、人間のたましいをいやさなければならぬ救いにおいて、真理の完全性に従わない選択はむだな消耗だけを起すことになるのだ。人間の基本的な問題は、神様を離れたことなのだが、親を離れた子どもの答えは親に帰ることだけだ。人生の苦しみのため、完全な解決策を完全な神様が道で与えられたが、その道を通るだけで人間が解放と自由を得るようにされる。宗教は良いが、それは一時的なプラシーボ効果の機能だけがあるだけだ。考えは価値があるが、人間はたましいを持っているので、そのたましいの要求を成し遂げられる真の薬は、ただ福音しかないのだ。昨日の太陽が今日上ってきても、その太陽は昨日のものとは違う。今日の私は明らかに昨日とは違った私なので、真のいのちの祝福を味わわなければならない。

チョン・ヒョングク牧師(福音コラムニスト)

* 相談したい方はこちらまでどうぞ